

編集後記

杉浦先生をはじめ、多くの方々の献がいほけましと、御協力により報告集としてまとめることが出来ました。ここに厚く御礼申し上げます。

さて、工料系の分野では、学会が十分発達している、一人でいくつもの学会に所属し、研究成果の内容にあった学会を選んで発表する機会にめぐまれております。数学はといえば、全国に何百もある大学紀要に分散した形で発表されていて、はなはだ不便なのが現状です。この点を欄あうと色々な試みが一部でなされていますが、代数群や微分方程式などのように、表現論でも共通の研究発表の場をもつことは大変有意義な事と思われます。各大学で活発に行なわれているセミナー活動のまとめ、集中講義の講義録、自分が長年取り組んだ仕事の紹介、特集を組むなどして共通の研究テーマのまとめ、表などの発表の場、修士論文の発表、速報集として使うなど色々な長所をあげることが出来ますし他の分野の報告集との交換も可能になると思います。よい企画、提案がありましたら御知らせ下さい。今回の編集は、大島利雄、大並生田雅一、佐野 茂、関口次郎、青木 茂、加藤 未広、河添 健、佐藤 忍が担当しました。

1981, 9, 17